

「校訓」

R3.6.1

6月になりました。今月は、加賀地区中学校体育大会兼県体予選会ほか学校外での行事が数多く予定されています。普段以上に自他の安心・安全に心がけ、その上で、これまでの練習の成果を大いに発揮し、大活躍してほしいと思います。

今回は、校訓について話をします。

「校訓」とは、それぞれの学校が、伝統、地域性、生徒の実態などを考慮し、独自に設定した学校全体の教育・指導方針で、その学校としてのめあてにあたるものです。

錦丘中学校の校訓はもちろん知っていると思いますが、大丈夫ですか。迷わず言えますか。各教室の前部の黒板上に掲示してあります。

錦丘中学校の校訓は「弘毅篤学（こうき とくがく）」です。



「弘毅」という言葉は、論語の「士は以て弘毅ならざる可からず（学問を身に付け、人徳の備わった人は、心が広く、意志が強固でなければならない。）」に由来する成語（古くからひとまとまりで慣用的に用いられる言葉）です。

「弘毅」の意味は、度量が広くて意志が強いこと、「篤学」は、熱心に学問に励むことで、本校の校訓「弘毅篤学」の「弘毅」とは、人として大きな心を持ち、主体的に自己の創造に努め、人生を構築していくための原動力となる強い意識を表し、「篤学」には知ること（学問）に熱心であれ、という思いが込められています。

また、この校訓は、高校と同じであり、1963年（昭和38年）、旧制石川県立金沢第二中学校の後継校として金沢錦丘高等学校が設置されて以来のものになります。そこには、「文武両面で鍛えよ」との精神が脈々と息づいており、錦丘高等学校・中学校の素晴らしい伝統や歴史につながっています。

ちなみに、高校とは学校の教育目標も同じです。「高い志を育み、豊かな心と知性、健やかな身体を培い、地域や国家、国際社会の持続可能な発展に貢献できる人材を育成する。」です。皆さんが健やかに成長して、夢や希望を実現し、地域や社会で活躍できる、貢献できる人になれるよう、そのために必要となる資質・能力の育成に、教職員全員で日々努めています。

皆さんには、これからも「弘毅篤学」を心に刻み、叶えたい夢、なりたい自分の実現に向けて、人として大きな心と強い意志を持ち、勉強に運動に、学校生活の様々な活動に自ら積極的に取り組んでほしいと思います。